

新入生の気持ちに寄り添う対応

滋賀大大津の生協学生委員会Willing(以下Willing)のオンラインでの交流会では企画段階から新入生への気持ちを大事に考えていました。

活動概要

Willingでは、新入生の不安解消や新入生同士のコミュニケーションの場を作るためにオンラインでの座談会を開催しました。企画を作るうえで新入生の気持ちに寄り添うことを1番大切に考えました。



[新学期]
×
[広報]



滋賀大学大津地区生協
集まれオンライン座談会
放課後おしゃべりタイム

POINT.1

現状分析を生かして企画へ！

アンケート

企画の参加に伴い、いくつかの質問への回答に、ご協力をお願いします。

現在の状況について

Q1. 同回生の知り合いはどれくらいいますか*

いない

少しいる

そこそこいる

たくさんいる

分からない

その他:

企画を作る上で、店長さんと正副委員長で打ち合わせを何度も重ねました。その中で、大学が入構禁止の状況やWEB授業の状況を踏まえて新入生の現状を考えたり共有しあったりしました。その中で、「新入生は誰とも話さない1日を送っているのではないか」という現状も見えてきました。

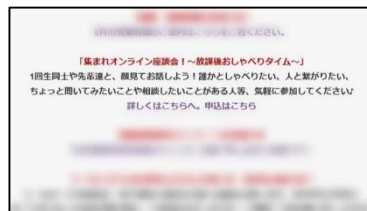
ここでは、企画の申し込みと同時にアンケートを取り“どんな企画をしてほしいか”“不安なことはなにか”などを聞き、それを企画の会話の内容として生かしていました！

当日は、なるべく新入生が話しやすい雰囲気を大切にするために、少人数でのグループを作ることを意識し、新入生2人に対してWillingが1~2人を回転していく形式でおしゃべりタイムを行いました。参加者から、少しでも人と話すことができよかったですと感想がありました。

POINT.2

職員と連携しての企画運営

この企画では店長さんと連携した情報宣伝が行われました。ホームページや、新入生全員にメールで案内をすることができより多くの新入生に案内を届けられました。学生と職員がともに作っていくことでできる幅が広がっていきます。



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [菊池 愛海]
Kikuchi.Manami@univ.coop